

## (7) 近畿



近畿地域では、景気は緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(―は上方に変更、―は下方に変更)

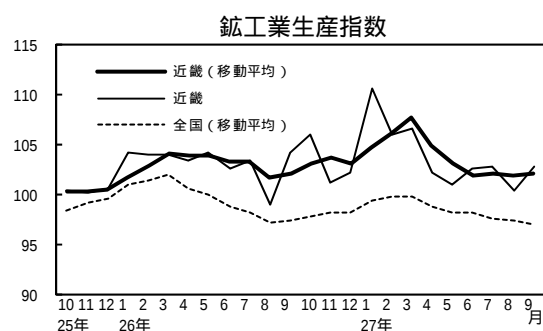
前回調査からの主要変更点

なし

### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は、おおむね横ばいとなっている。

7～9月期は、はん用・生産用・業務用機械は、ガスタービンや圧縮機等で海外向けの出荷が低調となったため減少となった。化学は、柔軟仕上げ剤等が増加したことにより増加となった。電気機械は、海外向けのリチウムイオン蓄電池等が増加したことにより増加。輸送機械は、自動車部品等が減少したことにより減少。食料品・たばこは、酒類等が増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

|               | 付加価値<br>ウェイト | 生産        |           |      |      |      |
|---------------|--------------|-----------|-----------|------|------|------|
|               |              | 4～6<br>月期 | 7～9<br>月期 | 7月   | 8月   | 9月   |
| はん用・生産用・業務用機械 | 17.4         | ▲14.2     | ▲3.4      | ▲3.7 | ▲7.1 | ▲0.4 |
| 化学            | 16.8         | ▲4.2      | 5.2       | 3.0  | ▲5.5 | 7.9  |
| 電気機械          | 9.0          | ▲13.1     | 6.2       | ▲2.4 | 2.8  | 11.2 |
| 輸送機械          | 8.4          | ▲2.6      | ▲2.2      | ▲0.9 | 4.6  | ▲5.4 |
| 食料品・たばこ       | 6.7          | ▲1.3      | 3.5       | 0.5  | ▲2.0 | 1.7  |
| 鉱工業           | 100.0        | ▲5.3      | 0.1       | 0.2  | ▲2.3 | 2.4  |

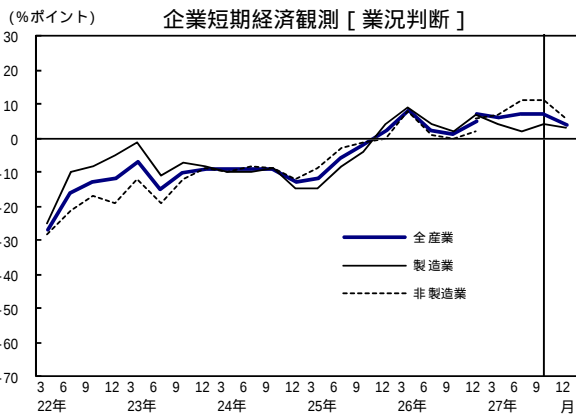
(備考) 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。

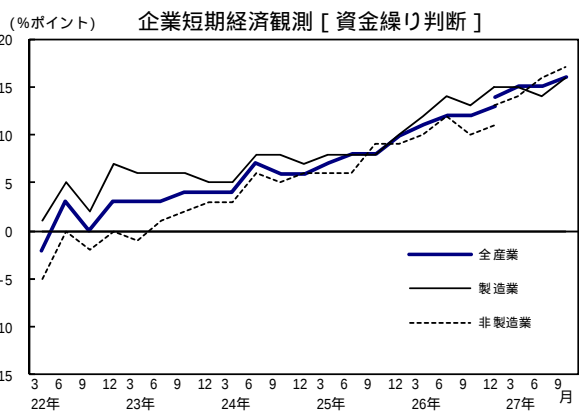
2. 全国及び近畿の太線は後方3か月移動平均。

( 2 ) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

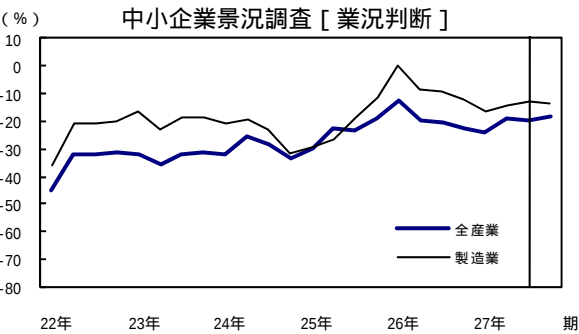
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。27年12月は予測。  
26年12月は新・旧基準を併記。



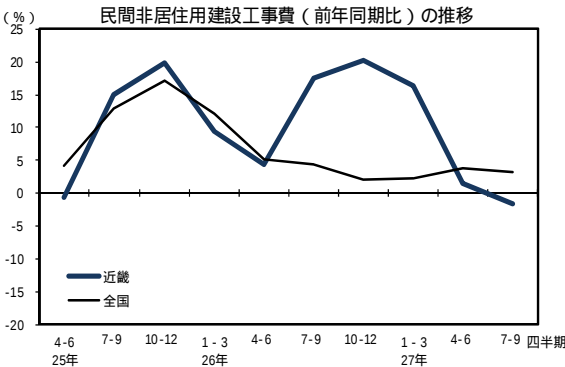
(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。27年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (10月) [ 企業動向関連 (現状) ]  
「10月 は夏日もあったが、後半に少し冷え込んできたせいもあり、製品の荷動きは良くなっている。競合他社では、秋に向けて製品を値上げした企業も多いが、当社は販売価格を維持しており、少し有利な状況にあることも影響している (食料品製造業)」などの回答がみられた。

( 3 ) 設備投資の民間非居住用建設工事は減少している。



企業短期経済観測調査 [ 設備投資 ( 9月調査 ) ]

( 前年度比、%)

|      | 26年度実績        | 27年度見通        |
|------|---------------|---------------|
| 全産業  | 7.5 ( ▲6.1 )  | 3.5 ( 0.9 )   |
| 製造業  | 2.8 ( ▲3.8 )  | 19.6 ( ▲0.5 ) |
| 非製造業 | 10.3 ( ▲7.3 ) | ▲5.6 ( 1.9 )  |

(備考)( )は前回 ( 6月 ) 調査比修正率。

## (7) 近畿

### 2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比0.0%、8月は同2.4%増、9月は同0.4%減となった。

百貨店・スーパー販売額

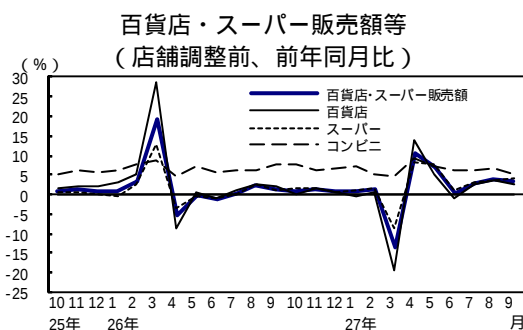
百貨店は、引き続き高額品や外商による売上や、訪日外国人観光客に対する販売が好調であった。7月は、後ろ倒しされた夏季のクリアランスセールを実施したことにより売上が好調に推移した。8月は、前半が猛暑となったことにより夏物商品が好調に推移し、後半は気温が低下したことにより秋物商品が好調に推移した。9月は、シルバーウィーク期間中が好天に恵まれたことにより来客が増加した。品目では「衣料品」や「身の回り品」、「その他の商品」が前年同期比で増加した。

スーパーは、農産品の相場高による販売単価が上昇したこと等により販売額は前年同期比で増加となった。7-9月期は、「飲食料品」や「その他の商品」が好調に推移した。また、「家庭用電気機械器具」が前年同期比で大きく増加した。

景気ウォッチャー調査 (10月) [家計動向関連 (現状)]

近畿地域の家計動向関連DIは、49.5となり前月より1.3ポイント低下した。

「1品単価や買上点数は少し良くなっており、何とか客単価は上がっているが、来客数が減少している。正確には、来店客が減っているのではなく、来店頻度が減っており、売上はほぼ昨年並みである。特に、週末の売上の落ち込みが大きく、まとめ買いが減り、必要な分だけを必要な時に買いにくる傾向が強まっている (スーパー)」など、「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

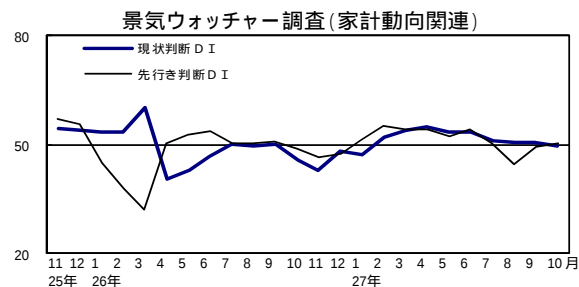
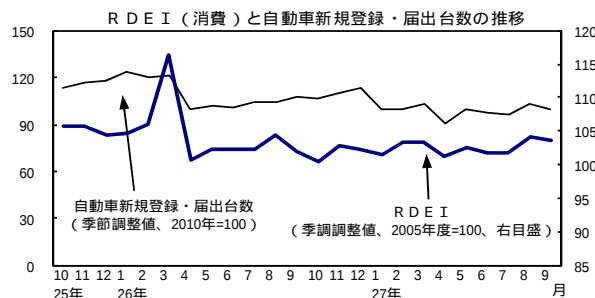


|              | 27年7-9月 | 27年7月 | 8月   | 9月   |
|--------------|---------|-------|------|------|
| RDEI (消費*1)  | 1.3     | 0.0   | 2.4  | ▲0.4 |
| 百貨店・スーパー(*2) | 3.4     | 3.0   | 3.7  | 3.5  |
| 百貨店(*2)      | 3.1     | 2.7   | 3.9  | 2.7  |
| スーパー(*2)     | 3.6     | 3.1   | 3.7  | 4.1  |
| コンビニ(*2)     | 6.1     | 6.0   | 6.9  | 5.2  |
| 乗用車(*3)      | ▲5.8    | ▲6.4  | ▲0.9 | ▲8.3 |
| (季節調整値)(*3)  | 3.8     | ▲1.0  | 7.2  | ▲2.9 |

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

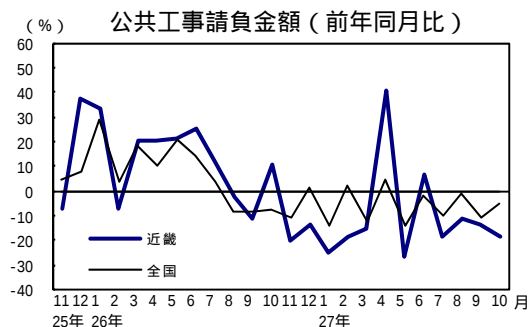
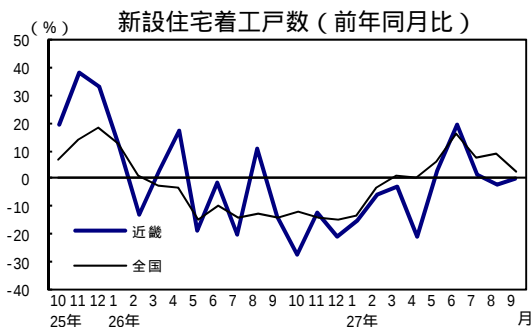
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比)(%)



(2) 住宅建設はおおむね横ばいとなっている。

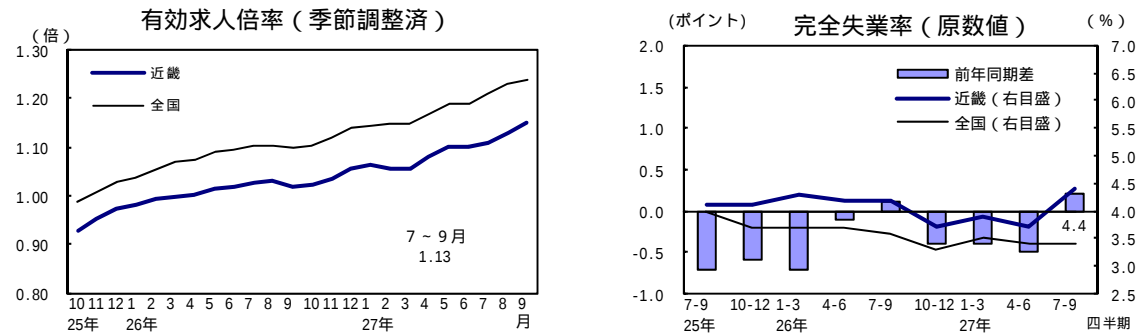
分譲が前年を下回ったものの、持家・貸家が上回ったことから、全体でおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は27年度累計でみると前年度とほぼ同水準となっている。



3. 雇用情勢等

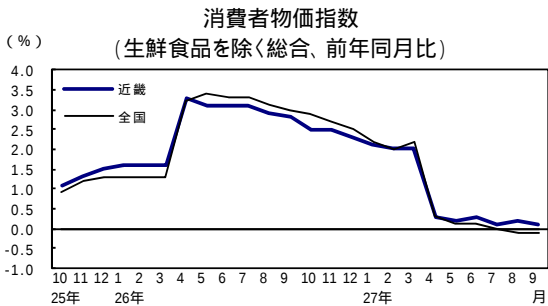
- (1) 雇用情勢は着実に改善している。  
有効求人倍率及び完全失業率  
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を上回っている。



景気ウォッチャー調査（10月）[雇用関連（現状）]  
「チェーン展開している飲食店から、各店舗の求人が大量にあったが、それを除けば前年比で4.8%の増加となっている。社会福祉や医療関連で増えているほか、運輸業では観光需要もあり、旅客運送の求人が大幅に増加した。その反面、不動産・物品賃貸業や専門技術サービス業などでは減少がみられる（職業安定所）」などの回答がみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。
- (3) 消費者物価指数は、前年比の上昇幅が縮小している。

| 企業倒産          | (件、億円、%)     |             |              |              |              |
|---------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|               | 26年10-12月    | 27年1-3月     | 4-6月         | 7-9月         | 27年10月       |
| 倒産件数<br>(前年比) | 584<br>▲10.3 | 558<br>▲8.8 | 591<br>▲11.8 | 541<br>▲13.3 | 180<br>▲15.1 |
| 負債総額<br>(前年比) | 714<br>▲21.1 | 842<br>29.1 | 661<br>▲36.2 | 503<br>▲40.5 | 201<br>▲16.2 |



- 景気ウォッチャー調査（10月）[合計（特徴的な判断理由）]
- <現状>
- ・特に大きな変化もなく推移しているが、ここへきて下半期の計画実行のためか、多少の荷動きが出てきている（金属製品製造業）
- <先行き>
- ・景気の回復といえるかどうかは判断が難しいが、海外の販売会社の開拓に手ごたえが出てきている。日本の品質の良さが理解されて商談が増えるなど、日本企業に有利に動いている感覚がある（電気機械器具製造業）

